

4 自然にやさしい 快適生活環境のまち

- ◎環境保全活動の推進
 - ▽省エネルギーの推進など環境保全に向けた取り組みの推進
 - ▽太陽光発電システムの一般家庭への設置補助の継続
 - ◎廃棄物処理対策の充実
 - ▽一般廃棄物処理の分別収集の徹底と減量化の推進
 - ▽不法投棄の監視強化やし尿収集・処理体制の充実による循環型社会の構築
 - ◎上水道・下水道の整備
 - ▽県道平泉停車場中尊寺線の既設老朽管の布設替
 - ▽有収率の向上と維持管理費の縮減、施設の長寿命化などによる経営の健全化推進
 - ▽祇園地区への下水道管の布設工事の継続
 - ▽農業集落排水施設の長寿命化の検討
 - ▽合併浄化槽設置に対する支援の継続
 - ◎公園・緑地・水辺の整備
 - ▽水辺プラザの適切な管理
 - ◎景観の保全・整備
 - ▽道路、河川などの環境整備の充実
 - ▽官民一体となった景観の保持
 - ▽社会情勢に併せた平泉町景観

計画の見直しの検討

5 定住と交流を支える 生活基盤のまち

- ◎道路・交通網の整備
 - ▽町道中学校線、祇園線、桐畑線、三貫線の継続整備
 - ▽町道新井田1号、2号、3号線の道路改良計画の検討
 - ◎住宅・市街地の整備
 - ▽木造住宅耐震診断事業や耐震改修事業、住宅リフォーム事業の継続実施
 - ▽東日本大震災被災者に対しての生活再建住宅支援事業や被災者住宅再建支援事業、被災宅地復旧補助事業の活用支援
 - ▽長寿命化計画に基づいて高田前住宅の外壁塗装工事の継続
 - ◎交通安全・防犯体制の充実
 - ▽交通事故死事故ゼロ継続日数のさらなる継続
 - ▽交通指導隊や交通安全母の会などの関係団体との連携推進
 - ◎消防・防災・救急体制の充実
 - ▽消防団員のさらなる装備品の充実強化
 - ▽常備消防や消防団、婦人消防協力隊との連携を強化し、消防力の一層の充実
 - ▽デジタル化防災行政無線や町地域防災計画の運用などによる地域防災力の向上

- ▽AED(自動体外式除細動器)を活用した応急手当の啓発活動
- ◎情報化の推進
 - ▽光ブロードバンドサービスの利用促進
 - ▽携帯端末を利用した観光情報や防災情報サービスなどの検討
- ◎消費者行政の充実
 - ▽広域的消費生活相談窓口専門の消費生活相談員の配置
 - ▽継続した啓発活動を行いトラブルの防止や消費生活の質的向上推進

6 みんなで進める 協働のまち

- ◎町民参加のまちづくりの推進
 - ▽町民と行政がそれぞれの役割と責任を分担しながら、ともにつくる協働のまちづくりの体制整備
 - ▽まちづくり地域懇談会を積極的に推進
 - ◎コミュニケーション活動・ボランティア活動の充実
 - ▽町民団体やボランティア団体などの自主的な活動に対する支援
 - ▽行政区が取り組む事業や活動に対する支援
 - ◎男女共同参画社会の推進

おわりに

▽学校教育や生涯学習活動を通じた意識の醸成

▽各種講座の開催や女性のための相談事業、活動団体への支援

◎持続可能な自治体経営の推進

▽平泉町第3次行政改革プランに基づいた事務事業や組織機構の見直し、定員管理の適正化や職員の資質向上など自主性と自立性の高い自治体経営の推進

▽学校教育や生涯学習活動を通じて、関係機関と連携強化を図りながら、各種施策の推進に積極的に取り組んでまいります。

また、社会情勢が厳しさを増す中、本町の発展には、住民と行政が一体となって進める協働のまちづくりが不可欠です。多くの住民が主体的にまちづくりに参加し、意見をまちづくりに反映できるよう、住民と行政の意思疎通にさらに努めてまいります。

新平泉町総合計画に掲げる将来像の実現に向けて、山積する諸課題に対し、スピード感と行動力を持って積極的に取り組み、多くの魅力が感じられるまちづくりを町民の皆さまと一緒に進めてまいります。

今回、提案いたしました平成25年度平泉町一般会計予算・特別会計予算・企業会計予算並びにその他の議案につきまして、議員各位のご理解とご協力、そして町民の皆さま方の町政への参画を心からお願ひ申し上げます。

平成25年3月5日
平泉町長 菅原 正義

柳之御所遺跡から 墨画折敷が出土

柳之御所遺跡の24年度調査で、擬人化されたカエルが描かれた折敷片が出土しました。

5×10センチ程度の小さい板片ですが、墨で描かれた絵が明瞭に残っています。擬人化されたカエルが右を向いて右手に扇、左手にススキを持って立っている様子がはっきりと分かります。残念ながら左半身の部分は欠損しており、どんな姿勢だったかは分かりません。隣にはカタカナの文字が記されていますが、薄くなり判読できていません。この資料は柳之御所遺跡の内側の堀跡から出土し、12世紀後半のものと考えています。

有名な国宝「鳥獣人物戯画」(京都高山寺蔵)では擬人化されたカエルや兎、猿が躍動する様子が描かれています。今回の資料はそれと時期的に近く、絵の内容も類似していることから、完全に同一の図柄はありませんが、関連をうかがわせる内容です。ただし、資料の絵の描き方の特徴は、絵仏師など専門家の運筆とは異なるとの評価もあり、今後の検討が必要です。

擬人化表現は全国的にも他に見つかっておらず「鳥獣人物戯画」に限定されます。当時の宮廷内で限定的に見られていた「鳥獣人物戯画」と類似した資料が、平泉で見つかったことは当時の平泉藤原氏の権力と文



柳之御所遺跡から出土した折敷(写真提供・県教育委員会)

化度の高さを改めて示すものとして貴重な発見になりました。

また平泉藤原氏の政庁柳之御所遺跡で見つかったことは、その評価にもつながる資料と考えています。

現在、資料は保護のため公開していませんが、保存処理を行った後、柳之御所資料館などで公開する予定です。

発掘最前線⑪

—志羅山遺跡第105次調査—

見つかりました。いずれの溝も埋土からかわらげが出土していることから、12世紀の溝と考えられます。

今回の調査区周辺では、過去に平泉の南側を区画する溝や、道路側溝跡が見つかっています(左図面参照:14・46・66次調査)。見つかった2条の溝は、過去に見つかった溝の延長線上にあることから、平泉の南側を区画する溝もしくは道路側溝の一部になると考えています。

このように、調査区内の成果だけでなく、周辺の調査成果とあわせて見てみると、小規模な調査からでも大きな成果を得ることができます。日々の地道な調査とその成果の蓄積・公開が重要であると再認識させられた調査でした。



105次調査で見つかった北側の溝

平泉を掘る

平成24年度の第105次調査は、町道の工事に伴い太田川橋北西隣の堤防北側を調査しました。

調査の結果、12世紀の溝跡2条、井戸跡1基、時期不明の柱穴43個が見つかりました。

北側の溝は、幅39~66センチ、深さ6~24センチほどあり、東西方向に約12センチ見つかっています。南側の溝は、幅65~85センチ、深さ30~50センチほどあり、東西方向に約2.4センチ見つかっています。



今回の調査区周辺で見つかった遺構(枠内の黒塗りが今回見つかった溝、薄い網がけが道路側溝と区画溝)